

だんだん便り

第16号

2019年2月10日

一般社団法人だんだん会

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 **0551-45-9566**
- ・地域看護センター **あんあん** **0551-30-7505**
- ・定期巡回 **てくてく24** **0551-30-7787**
- ・オレンジサロン **わいわい白州・長坂** **0551-45-9566**

- ・グループホーム **わいわい白州** **0551-30-7566**

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023



北八ヶ岳 坪庭の樹氷

写真・文 八ヶ岳仙人

真冬の朝、晴れわたった空を見上げ、かねてから計画していた北八ヶ岳坪庭に写真撮影に出かけた。ロープウェイを降りると、真っ青な空の下に厳しくも美しい造形美の樹氷群が見られ夢中にシャッターを押した。

八ヶ岳、南アルプス、北アルプスの山々の展望も素晴らしく、感動の一日でした。

グループホームわいわい白州 (尾白)

お正月

尾白職員 三井沙織

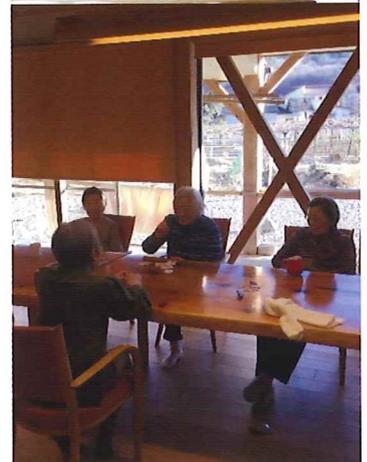
横手の駒ヶ岳神社へ初詣に行きました！
皆さん笑顔で一年のスタートです！
お神酒もいただき、とっても嬉しそうですね！

何がでるかな～？ドキドキの、おみくじ。
皆さん良い結果にはしゃいでいました！
今年もいっぱい笑って過ごせますように♪



「あららら、もう年明けるの？お正月は食べすぎて太っちゃうわよね～(笑)」と〇〇さん。

「いつもいっぱい食べてるじゃない？(笑)」と職員が言うと「あなたもお腹出てるわよ！(笑)」と大笑い。おせち料理を食べて、手作りの福笑いやカルタもして楽しいお正月を迎える事ができました。〇〇さん着物姿がとっても素敵ですね！



オレンジサロンわいわい長坂・白州・こぶち

昨年暮れから新春にかけて・・・



花育
正月用の
生け花に
挑戦！



お出掛け cafe の様子です。



今年もよろしくね
お年玉箱！
ボランティアさんの
手作りです。



オレンジサロン
近くの神社に
運動を兼ねて
初詣！

小正月の行事を
サロンで
再現！



米粉の団子で
繭玉・・・



百人一首にチャレンジ

長く伸びた腕はリハビリです！



わがままハウス山吹

今春4月オープン!

一般社団法人だんだん会

わがままハウス山吹

(支援付き共生すまい山吹・多機能型シェアハウス)

入居案内

“つながり”を大事に、みんなで暮らす“家”です!

国土交通省の平成30年度スマートウェルネス住宅等推進モデル事業の補助金対象に選定されました。
『支援付き共生すまい山吹』創設運営事業～空きベンションのイノベーション～



“自由に”“わがまま”に暮らす家です。
超高齢でも、要介護でも、終末期でも、安心して暮らせるシェアハウスです。
日中は、寄り添いスタッフが在宅し、いっしょに過ごし見守ります。
住民主体でのサロン活動も実施します。
暖かい居心地のいい空間をみんなで作り上げましょう!

問い合わせ先

TEL 0551-45-9566

一般社団法人だんだん会長坂事務所

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

FAX 0551-45-9568

Email : info@dandankai.com HP : http://dandankai.com

20190204 版

入居者募集を開始!!

改築も順調に進み、2月末には完成予定です。左記のような入居案内(料金表も)ができました。詳しくは、法人本部にお問い合わせいただくか、ホームページを参照してください。また、必要な方には、入居案内を郵送します。

早速、第一号の入居申し込み者が!

入居案内の一部です

詳しくは、ホームページを!

住みよい共生すまい作り地域会議を開催しました

『わがままハウス山吹』を地域の皆さんといっしょに作り・運営していくという方針のもと、先日、上記の地域会議を開催しました。当日は、八ヶ岳根っこの会、医療関係者、介護事業者、地域住民代表、当法人関係者など13名の参加でした。(行政の方は欠席)

作るようになった経緯や目的、実際の運営方法について説明のあと懇談しました。「こういう家があるととても安心できるのでありがたい」「この家で死にたい人、大歓迎」とパンフレットに書いた方がみんな安心できるのではないかと「退居規定をしっかりと作った方がいいでしょう」「夜間帯に職員がいないことがちょっと不安なのは」「でも基本的に家なので、選択肢の一つとしてはいいのではないかと」など、活発な意見交換ができました。参考にして運営します。



わがままハウス山吹

入居対象者について



入居の種類

	種類	住民票の有無	
長期入居	A 移住・定住入居	住民票あり（移動）	
	B かけもち入居	住民票なし	別荘の利用 食事利用
短期入居	C 1か月以内の入居	住民票の移動必要なし	退去日決定の上の入居

Q&A

- Q1 年齢制限はありますか？ A: ありません。0歳～100歳以上でもOK
- Q2 要介護認定は必要ですか？ A: 必要ありません。要介護度がなくてもOK
- Q3 病気の種類・程度は？ A: 問いません。重度の方でもOK
- Q4 北杜市に住民票がなくてもいいか？ A: 住民票がなくてもOK
- Q5 1部屋を2人で利用してもいいか？ A: 可能です。ただし利用料は別途規定
- Q6 家具の持ち込みはいいか？ A: 可能です。貸し出し用家具もあり 要相談
- Q7 ADL(日常生活動作)はどの程度の人ですか？
 A: 食事・・・自分で食べられなくてもOK。簡単な治療食でもOK
 排泄・・・失禁でOK トイレ介助でもOK
 入浴・・・介助が必要でもOK
 移動・・・車いす移動でもOK
 会話・・・会話ができない人でも不可能ではないが、要相談

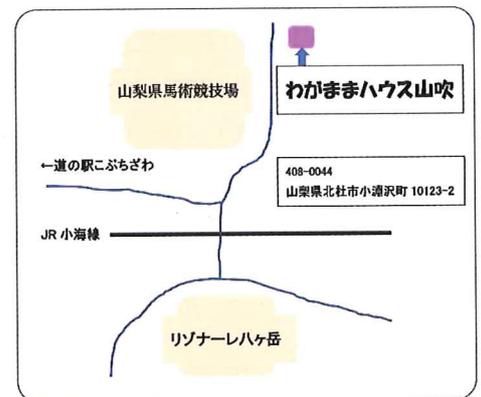
入居困難な方

- ① 夜間帯、一人で過ごせない方(夜間、見守りが必要な方)
 - ② 随時の医療的ケアが必要な方(吸引など)
 - ③ 重度の認知症の方
 - ④ その他、共同生活に適さない方など
- 入居後、このような状態になった場合は、相談の上退居対象となります。

入居案内の一部です
詳しくは、ホームページを！

408-0044

山梨県北杜市小淵沢町 10123-2



- ・山梨県馬術競技場の隣
- ・JR 小淵沢駅まで車で5分
- ・中央高速小淵沢インターまで車で5分
- ・道の駅こぶちざわまで徒歩可能
- ・リゾナーレ八ヶ岳まで徒歩可能

入居者募集開始 : 2019年2月5日より

一次締め切り : 2019年3月5日(火) 入居判定会議にて決定

- ◆入居希望の方は、別紙申込書に必要事項を記入の上、だんだん会長坂事務所まで郵送ください。
申し込みの前に、気軽に相談してください。(法人本部 0551-45-9566)
- ◆定期的な短期入居(ショートステイ)を希望の場合も申し込みください。
- ◆申込後、担当者がご本人に面接に伺います。(遠方の場合は、相談)
- ◆第一次申込者は、3月中旬までに入居可否について連絡いたします。
- ◆入居の可否については、入居判定会議で決定します。

入居開始 : 2019年4月1日～

*** 建物の中の見学は、3月上旬以降です。(改築中)**

てくてく物語 <その6>

『定期巡回てくてく24』(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)の活動内容の一端を連載でお伝えしています

家の中に入れてくれなかった春江さんが 玄関で歓迎してくれるように！

玄関を開けてくれなかった春江さん

このシリーズの「てくてく物語」<その1>でご紹介した春江さん(仮名、80歳、女性)に変化が出てきたのです！

昨年春から安否確認のために一日1回訪問していた春江さん。なかなか玄関を開けていただけず、「私は大丈夫。何もしていただくことがないのでお帰り下さい」と玄関払いの日々が続いていました。時間が経つにつれ、少しずつ家の中に入れていただけるようにはなったのですが、「できます、できます、私がやりますので」の繰り返しでした。(できていないのに)

寒くて布団にこもりきりに

11月下旬、寒い日が続き、ふと気づくと布団から起き上がってこなくなっていました。家中が寒くて寒くて…。毎年どうしていたのかを尋ねると『こたつ』と。どこにあるのかをお聞きし、本人の許可で配置換えをしてこたつを作りました。と同時に、温かいおじややうどんを作って「どうぞ」とこたつの上に。

「作らなくていい」といつつ、「おいしい。おいしい」と召し上がりました。その顔が何とも言えず幸せそう！翌日からは、「いっしょに作る」ことができるようになりました。

給湯器故障…

今度は、年末に台所のシンクに食器がたまっている毎日。どうしたのだろうと探してみると給湯器が壊れたために冷たくて洗えない状況がわかりました。この時は、早期に修理してOKに。



鍋の焦げが…

次々といろんなことが起こります。1月に入ると、ガスコンロの上の鍋が毎回焦げ始めたのです！職員やケアマネさんとみんなで何度も話し合いました。IHがいいか、電子レンジか、食事を毎食運ぼうか…。火事を出すわけにいかない…。

とりあえず、本人がガスを使わないように元栓を止めることに。その代り、一日2回訪問してその時にいっしょに食事を作ることにしました。

これは成功！

これ以降、いろいろな変化が…

- ① これまで閉まっていた玄関が開けられ、その時間になると春江さんが玄関で待っていてくれるようになったのです！なんということでしょう！
- ② いっしょに調理ができるように。驚いてしまいました！にこにこいっしょに食事作りが可能に！
- ③ 掃除もさせていただくことができるように。まだできないのは、入浴…。これも徐々に挑戦。

変化した要因

春江さんが変化した要因は何だったのでしょうか。だれも正確なことはわかりませんが、みんなで考えられる要因を探ってみました。

- ① 訪問する職員・顔に慣れてきたこと
危害を与えない人、無理強いしない人、楽しい人、冗談が言える人。毎日見るので知った顔。
- ② 食事が決め手かな
寒い時に温かくおいしいものを食べられる安心感、幸せ。
- ③ 訪問回数を一日2回に増やしたこと
認知症の人には、“回数”は何より大事なことでとにかくよかった！

地域看護物語

私が頂いた大きなプレゼント

1年前、「癌です。終末の準備もしています。ストーマ(人工膀胱と人工肛門)の管理に自信がなくなってきたので訪問看護をお願いしたい」と大野浩二さん(79歳、仮名)からの依頼でした。訪問看護を始めて7か月の私ですが、「大丈夫です。家にいる間、どんな状態でも私が引き受けます」緊張しつつもお受けしました。

20年前に移住

浩二さんは20年ほど前に仕事の関係で、単身で山梨県に来られ、北杜市を訪れ、「素敵な場所だ。この地で死にたい」と思い、移住を決断。(ご家族に相談はなかったとのこと)南アルプスの山々が良く見える場所に山小屋風の素敵なお家を建て、その家で約15年おひとりで暮らしていたとのことでした。

癌と診断

7年前に癌と診断され、大きな手術でお腹に2つのストーマを造設。徐々に癌が進行し、痛みが増え体力的にも不安を感じ始めた時、浩二さんはある決断をされたようです。県外にお住いの奥様をお願いして時々手伝いに来てもらうことにしたのです。奥様も応じてくださいました。

私は週に1~2回、浩二さん宅を訪問し、全身状態の観察とストーマの手当てや管理、状態の進行とともに徐々にベッドに横になる時間が増えてきて、ストーマのトラブルもあり、浩二さんと相談しながら、いろいろ工夫しました。

最期は、どこで？

私は早い段階で浩二さんに最期を迎える場所についてお聞きしました。「この地が気に入って、ここで死にたいと思って移住してきた。この家で逝きたい。でも、近所や家族に迷惑をかけるのなら病院にする」と。奥様とお子さんは「介護する自信はない。食べられなくなったら、あるいは動けなくなったら入院」

ご本人の気持ちとご家族の意見の違いに、私はどうしたらいいのか悩みました。残されるご家族が後悔をしない選択をできるように、ご本人のいないところでご家族と話し合いをしたことも。主治医からも、家族に細やかな説明、自宅で安心して看られる体制があることをお話し下さいました。結論がでないまま時間が過ぎました。

地域看護センターあんあん 看護師 内田優実

転倒・入院

ある日、自宅で転倒。検査のため入院し、ベッド上の生活に。主治医と訪問看護師、家族で今後について話し合いをしました。家族は、「家ではなく、このまま病院で看取りたい」と。主治医は、そのことは了承しつつ、いつでも入院できるように入院の受け入れ体制を整えつつ、一旦退院。

奥様の支援に全力を

寝たきり状態で終末期の浩二さんの気持ちを尊重したい、しかも奥様の最強の応援団として、私も毎日訪問して精一杯支援・看護をしました。そうしたところ、自宅に戻って数日後、奥様が「この様子だったら家で看られます」と!! いつでも入院できるという安心感と、入院していた時とは違う浩二さんの穏やかな表情からかなあ……。

ご自宅での旅立ち

退院から6日目。浩二さんは大好きなご自宅で旅立たれました。前日の夜には奥様の作った小さなおにぎりと、ミカンを1房食べ、いつものように、おやすみの挨拶をしたようです。ほっとしたような、安心したような、とても素敵な表情でした。奥様は「入院したまま逝かなくてよかった。あの人が望んでいた形で逝くことができた」と。

ご夫婦の關係に深くは立ち入りませんが、自宅に戻った浩二さんが「妻がこんなにしてくれるとは思わなかった」とおっしゃったそうです。

大きなプレゼントを

浩二さんの応援団はたくさんいました。あんあんの先輩看護師たちはもちろん、在宅医、ケアマネジャーや地域の保健師、浩二さんが16年かけて築いてきた近所の仲間、そしてご家族。みなさんといっしょに、私なりに浩二さんの思いにそって看護を行いました。

私が看護師として生きていくにあたって、浩二さんには大きなプレゼントをいただいたような気持ちでいます。



連携しています！

「相談して良かった、気持ちが楽になった」と感じてもらえる援助を心がけています！

アルプス居宅介護支援事業所

浅川成彦さん
清水雪江さん
中澤三枝子さん



アルプス居宅介護支援事業所ケアマネージャー浅川、清水、中澤です。日頃、「定期巡回てくてく24」さんや「地域看護センターあんあん」さんと連携させていただいております。

アルプスの由来は、山を見て癒された過去を踏まえ、当事業所によって利用者様を癒したい、その想いで名付けました。

介護のことなど、何でもご相談ください。3人のケアマネージャーで対応させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

「わがままハウス山吹」開設に伴い、物品の寄付をお願いいたします！

みなさまのご協力で作上げていきたいと思っています。押し入れで眠っているもの、使用しないで場所をとっているものなど、以下のような物品をぜひお譲りください。(入居する方が使用するものなので、消耗品は新品同様のものをお願いいたします)

- * IH用のやかん・フライパン・両手鍋・片手鍋
- * ホットプレート・電子レンジ・コーヒーメーカー
- * 電気ポット・トースターなど

- * タオル・バスタオル
- * 洗剤
- * 花瓶・CDプレーヤー など

ご寄付いただける方は、まずお電話を！ 0551-45-9566 法人本部まで